

桐生繊維業界の実態

平成25年1月～12月

桐生市繊維振興協会

桐生繊維業界の概要

※ 桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に、平成25年1月～12月までの業界実態を調査し、作成しました。（なお、桐生商工会議所 繊維部会、桐生織伝統工芸士会、有限責任事業組合 起龍については、組合員重複により調査対象とせず。）
また、加盟団体の退会等により調査対象に変更が生じる為、前年対比は参考数字とさせて頂く事を予めご了承下さい。

1. 調査対象団体数	12 団体	
2. 産地収入		
(1) 生産高	155 億7,999 万円	
(2) 加工高	14 億1,987 万円	
(3) 販売高	71 億2,863 万円	
計	241 億2,849 万円	
退会団体の収入（推定：前年対比102%）	20 億5,986 万円	
計	261 億8,835 万円	（前年対比 102%）
3. 組合員数（事業所数）	263 事業所	
4. 総従業員数（家族従業員含む）	2,167 人	
5. 一事業所当たり従業員数	8 人	
6. 一事業所当たり生産加工販売高	9,174 万円	
7. 年度別産地収入高		
平成 5年 産地収入	893 億2,611 万円	（前年対比 89%）
平成 6年 産地収入	845 億3,438 万円	（前年対比 95%）
平成 7年 産地収入	733 億6,672 万円	（前年対比 87%）
平成 8年 産地収入	678 億3,478 万円	（前年対比 92%）
平成 9年 産地収入	616 億9,017 万円	（前年対比 91%）
平成10年 産地収入	528 億4,669 万円	（前年対比 86%）
平成11年 産地収入	473 億6,503 万円	（前年対比 90%）
平成12年 産地収入	444 億7,222 万円	（前年対比 94%）
平成13年 産地収入	416 億8,724 万円	（前年対比 94%）
平成14年 産地収入	376 億2,047 万円	（前年対比 90%）
平成15年 産地収入	346 億0,005 万円	（前年対比 92%）
平成16年 産地収入	453 億8,571 万円	（前年対比131%）
平成17年 産地収入	436 億5,236 万円	（前年対比 96%）
平成18年 産地収入	397 億4,442 万円	（前年対比 91%）
平成19年 産地収入	375 億4,078 万円	（前年対比 94%）
平成20年 産地収入	318 億2,356 万円	（前年対比 85%）
平成21年 産地収入	287 億2,461 万円	（前年対比 90%）
平成22年 産地収入	257 億4,424 万円	（前年対比 90%）
平成23年 産地収入	258 億0,221 万円	（前年対比100%）
平成24年 産地収入	257 億5,924 万円	（前年対比100%）

1. 組合員数及び従業員数

団体名		組合員数 (事業所数)	従業員数				従業員 平均年齢 (歳)	
			雇用従業員 (人)		家族従業員 (人)			計 (人)
			男性	女性	男性	女性		
桐生織物協同組合	広幅協議会	58	168	227	54	72	521	54
	内地協議会	63	159	282	53	61	555	58
桐生染色組合		12	96	51	5	5	157	49
桐生繊維製品協同組合		23	116	198	22	18	354	47
桐生織物産地元売組合		4	6	4	1	1	12	50
桐生糸商組合		9	22	9	2	8	41	50
桐生刺繍商工業協同組合		46	73	109	65	65	312	61
東日本編レース工業組合		4	38	17	7	3	65	48
桐生意匠組合		10	1	1	3	7	12	58
桐生紋紙組合		10	5	0	5	4	14	63
東毛ジャカード刺繍協同組合		9	8	12	9	9	38	50
桐生織物商友会		10	11	9	4	8	32	60
桐生テキスタイル商業グループ		5	30	19	4	1	54	48
合計		263	733	938	234	262	2,167	

注

- (1) 平成 7年 1月13日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。
- (2) 平成 7年 5月17日 桐生織伝統工芸士会 入会。
- (3) 平成10年 3月31日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。
平成10年 3月31日 桐生織物商業組合 解散し退会。
- (4) 平成10年 4月 1日 桐生和服裁縫組合 入会。
- (5) 平成11年 3月31日 桐生金銀糸協同組合 解散し退会。
- (6) 平成12年 3月31日 桐生撚糸工業組合 解散し退会。
- (7) 平成13年 3月31日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。
- (8) 平成18年11月28日 有限責任事業組合 起龍 入会。
- (9) 平成21年 3月31日 桐生和服裁縫組合 退会。

2. 生産、加工高及び取引先区分（工業部門）

団体名		生産高 (万円)	加工高 (万円)	計 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
						県内	県外
桐生織物協同組合	広幅協議会	370,227	20,331	390,558	100	0	100
	内地協議会	132,757	-	132,757	89	0	100
桐生染色組合		-	60,000	60,000	125	30	70
桐生繊維製品協同組合		809,105	26,002	835,107	103	17	83
桐生刺繍商工業協同組合		32,760	34,420	67,180	105	50	50
東日本編レース工業組合		186,462	-	186,462	219	9	91
桐生意匠組合		3,960	-	3,960	88	90	10
桐生紋紙組合		4,000	-	4,000	100	85	15
東毛ジャカード刺繍協同組合		18,728	1,234	19,962	89	2	98
合 計		1,557,999	141,987	1,699,986	108	13	87

3. 販売高及び取引先区分（商業部門）

団体名	販売高 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
			県内	県外
桐生織物産地元売組合	52,000	106	15	85
桐生糸商組合	400,000	82	75	25
桐生織物商友会	80,000	114	10	90
桐生テキスタイル商業グループ	180,863	98	1	99
合 計	712,863	90	45	55

4. 内需向、輸出向区分

団体名		内需向		輸出向		計 (万円)
		金額 (万円)	割合 (%)	金額 (万円)	割合 (%)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	341,558	87	49,000	13	390,558
	内地協議会	132,757	100	-	-	132,757
桐生染色組合		60,000	100	-	-	60,000
桐生繊維製品協同組合		835,107	100	-	-	835,107
桐生織物産地元売組合		52,000	100	-	-	52,000
桐生糸商組合		340,000	85	60,000	15	400,000
桐生刺繍商工業協同組合		67,180	100	-	-	67,180
東日本編レース工業組合		185,616	99.5	846	0.5	186,462
桐生意匠組合		3,960	100	-	-	3,960
桐生紋紙組合		4,000	100	-	-	4,000
東毛ジャカード刺繍協同組合		19,962	100	-	-	19,962
桐生織物商友会		80,000	100	-	-	80,000
桐生テキスタイル商業グループ		162,777	90	18,086	10	180,863
合計		2,284,917	95	127,932	5	2,412,849

5. 各団体の取扱品目

団体名		品 目				
		割 合 (%)				
桐生織物協同組合	広幅協議会	服地	インテリア・ 資材	ネクタイ	その他	
		65	19	11	5	
	内地協議会	帯地	広幅生地	服飾品	着尺	
		57	21	16	6	
桐生染色組合		合織	レーヨン・アセテート	絹	綿・ウール	
		85	5	5	5	
桐生繊維製品協同組合		ブラウス	ニット・ カットソー	ワンピース	スカート	その他
		25	23	13	3	36

団体名	品 目				
	割 合 (%)				
桐生織物産地元売組合	帯地	二次製品	服飾工芸	着尺	その他
	50	20	10	5	15
桐生糸商組合	ポリエステル	アクリル	レーヨン	ナイロン	絹・綿・その他
	35	20	15	15	15
桐生刺繍商工業協同組合	婚礼衣裳	婚礼加工	プラス・ニット加工	ハンカチーフ加工	雑貨
	20	20	15	15	30
東日本編レース工業組合	インテリア	産業資材	衣料		
	65	26	9		
桐生意匠組合	洋反	インテリア	帯地	金襴	
	85	5	5	5	
桐生紋紙組合	エンドレス ペーパー	フロッピー	紋紙		
	35	45	20		
東毛ジャカード刺繍協同組合	ワッペン	Tシャツ	ワッペン・イント刺繍	その他の布帛	プリント加工
	48	19	13	7	13
桐生織物商友会	二次製品	和装小物	帯	着尺	その他
	50	20	20	1	9
桐生テキスタイル商業グループ	服地	ニット関係	その他		
	60	39	1		

6. 生産加工部門の現有設備状況

団体名		設備名	数量(台)
桐生織物協同組合	広幅協議会	普通織機	702
		自動織機(片レピア含)	210
		超自動織機(レピア)	395
		計	1,307
	内地協議会	広幅織機	67
		並幅織機	709
		小幅織機	128
		自動・レピア織機	206
		計	1,110
桐生染色組合	常圧噴射式染色機	60	
	高圧噴射式染色機	14	
	汎用染色機	10	
	チーズ染色機	30	
	高圧液流染色機	15	
	計	129	
桐生繊維製品協同組合	ミシン(特殊含)	250	
	プレス	28	
	裁断機	11	
	その他	93	
	計	382	
桐生刺繍商工業協同組合	横振ミシン	45	
	多頭式ミシン	350	
	計	395	
東日本編レース工業組合	ジャカードラッセル機	33	
	チェーンラッセル機	47	
	計	80	
桐生意匠組合	デザインシステム	20	
	コピー機	7	
	計	27	
桐生紋紙組合	デザインシステム	19	
	横彫カット・エンドレス	13	
	カードパンチ	10	
	ワンパンチ	3	
	計	45	
東毛ジャカード刺繍協同組合	コンピューターミシン	22	
	プレス	5	
	本縫いミシン及びその他の機械	24	
	パンチング製版機及びプリント機	6	
	計	57	

7. 最近の推移（H25年10月～H26年2月）

団体名		受注・引合の状況				販売（加工）単価の状況			
		増	変らず	下降	前年対比 （%）	増	変らず	下降	前年対比 （%）
桐生織物協同組合	広幅協議会			○	99		○		100
	内地協議会			○	89		○		100
桐生染色組合		○			105	○			105
桐生繊維製品協同組合		○			105		○		100
桐生織物産地元売組合			○		100	○			110
桐生糸商組合			○		100	○			105
桐生刺繍商工業協同組合		○			105	○			105
東日本編レース工業組合		○			106		○		100
桐生意匠組合				○	90			○	90
桐生紋紙組合			○		100		○		100
東毛ジャカード刺繍協同組合				○	90		○		100
桐生織物商友会		○			110		○		100
桐生テキスタイル商業グループ			○		100		○		100
合計		5	4	4		4	8	1	

8. 商品 消費者ニーズの変化について、平成25年(1月～12月)の状況、事業概要、今後の課題

桐生織物協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・産地商品に対する消費は依然として低迷している。
輸出においては、中国マーケットの減速により、受注も少量のものが多くなっている。欧米向けでは、個性的な高級素材への関心が高くなってきている。
- ・和装部門においては、カジュアル製品の販売方法が多様化し、消費者は様々な方法で製品を目にする機会があるため、特に今まで市場になかったような製品が求められる傾向がより強くなった。

平成25年の状況、事業概要

- ・国内事業として、東京青山にて10月に桐生テキスタイルコレクション2014A/Wを開催。
また、JFW ジャパンクリエイションへの出展をした。輸出向けとして、9月にパリで開催されたテックスワールドパリに出展。
- ・和装部門においては、流通の弱体がより加速し、産地製品を全国に発信する機会がさらに不足するため、集散地である東京、京都における展示会の開催を積極的に実施した。
また、市場が求める新しい製品の提供のため、新製品開発事業に取り組むなど、需要の喚起と販路の開拓を組合事業の柱として、和装振興のため多くの事業を行った。

今後の課題

- ・多品種少量生産の特色を生かし、まだ市場に無い、変り織物、より一層の高付加価値商品の開発が必要となる。
- ・和装部門においては、消費者の立場に立った、今までになかったような魅力を持つ製品の開発や、地域団体商標「桐生織」のブランド力向上による産地商品の信頼性の確立などが課題となっている。

桐生染色組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・織物の市況はさらに悪化。(昨年比)
- ・カーテン関係は、昨年度と受注量は変わらないが、消費税アップによる駆け込み受注が多い。(H26.2月より)
- ・環境に配慮した機能性素材(カーテン等)、スポーツ衣料は好調である。アウター向けの衣料用レースも好調に推移。

平成25年の状況、事業概要

- ・カーテンレースは、安定した受注。スポーツ用素材、健康衣料向け加工は順調に推移した。桐生内地の織物は、先染め、後染め共不況である。

今後の課題

- ・染色業は、旧来、依頼加工であるが、時代に対応するにはオンリーワンの生き残り工場となるか、自社のオリジナル商品及び付加価値の高い商品作りを模索していかねばならない。

桐生繊維製品協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・国内需要は超高齢化時代に入り益々縮小していく中、高付加価値商品の需要は増え、安いだけでは物は売れない時代になってきている。繊維製品にもファッションに機能がプラスされた商品などが消費を牽引している。

平成25年の状況、事業概要

- ・超高齢化時代の中、経営者の高齢化問題や後継者問題などに直面し、今後、数年で事業を辞めてしまう会社も多発すると思われる。組合としても青年部を中心とした組織拡大や、人材育成に力を入れ、事業運営を行っていく必要がある。

今後の課題

- ・労働者が減少する中、人材確保は大きな問題で、中国からの実習生受け入れもベトナム、カンボジアなどからの受け入れへ移行している。また、人材不足を補うために機械化や自動化なども進めていかなければならないが、その場合の資金補てんの意味で、補助金申請の勉強会などを行い、今まで活用していなかった企業への利用促進を促す。

桐生織物産地元売組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・アベノミクスにより、日本経済は回復傾向にあるが、着物の愛好者の高齢化が進んでいる等、着物の需要は停滞している。夏のゆかた、成人式の振袖等は、若い人達の人気もあるので、成人式後の和服の良さを認識してもらうように企画を練らなくてはならない。

平成25年の状況、事業概要

- ・24年度に比較して数量ベースでは変わらないが、単価の上昇により10%ほど売り上げは増加した。しかしながら、金糸・綿糸・ポリエステル等原糸価格は上昇し、付属品も20%程度上昇している中で、利益を上げにくい状況である。

今後の課題

- ・26年においても、益々円高の影響と後進国の資金の上昇は続くと思われる。必然的に販売価格は上昇していかないと業界として成り立たなくなっている。価格アップと需要のバランスを考えて進まなくてはならない。

桐生糸商組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・年明け頃から徐々に凝った物の試験が成され始めている。特にブランド製品については、販売順調を背景に少し高級感増しを付加すべく動いている会社が多くなっている。

平成25年の状況、事業概要

- ・春先の期待感に押された動きが夏に向け有ったが、8~9月実景気の波及が自動車業界を始め一部の業界に滞ったので、下降してしまった。しかし、年末にかけては少しずつ引き合いと同時に先高感もあり買われてきた。

今後の課題

- ・構造そのものは強い企業群は多いと思われるが、活発にその機能を生かし切っている企業は少ないように思われる。M&Aを含め、あらゆる方面への更なる視野拡大を必要とされる時期を迎えていると思われる。

桐生刺繍商工業協同組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・ニーズの多様化による小ロット生産が主体となっている。

平成25年の状況、事業概要

- ・東日本大震災の影響はまだ企業に響いている状況。
- ・制約に伴うコスト増等、材料等の値上がりも問題となっている。ただし、将来にむかって明るい兆しが多少見えつつある。

今後の課題

- ・技術者の高齢による人材の確保は相変わらず難しい状況。少なくとも若者も取り組んできている企業もあるなか、チャレンジし続けることで、個々の企業の技術、得意分野を磨き続けることにより、桐生刺繍の良さをアピールしてゆくこと。

東日本編レース工業組合

商品 消費者ニーズの変化について

- ・金融緩和の影響もあり、徐々に安いものの一辺倒から中級品を求める傾向が見える。

平成25年の状況、事業概要

- ・リーマンショックから漸く立ち直り、数量・金額とも回復高調にある。

今後の課題

- ・円安が進み、原油高もあって、原材料価格が上昇、運賃等その他のコストも上昇してきているため、より付加価値の高い商品開発が求められる。

桐生織物商友会

商品 消費者ニーズの変化について

- ・消費者のニーズは、より快適で、便利でデザイン性の良い商品を求めている。抗菌防臭、撥水、防汚、など機能性の高い商品を求めている。

平成25年の状況、事業概要

- ・アベノミクスの効果はなく、依然として低調ではありますが、現在の消費者のニーズに合った商品は良く売れている。(デザイン性・機能性)

今後の課題

- ・消費者のニーズは、より便利で、デザイン性も良く、快適な商品を求めている。そのことに対応していく事も重要であるが、4月からの増税でどのくらい消費が落ち込んでしまうのか、又、それに対して法人としてどの様に対応していくのが課題である。

桐生テキスタイル商業グループ

商品 消費者ニーズの変化について

- ・SPAなどの低価格商品への飽きがきている。そのため産地服地などへ需要が戻りつつある。多品種小ロット化がより進んでいるが、生地単価が高い方に需要が出てきた。
- ・海外では、円安にもかかわらず安い商品だけでなく、日本製の高い商品でも販売できる兆しがでてきた。
- ・消費税増税前の駆け込み需要は、ほとんどなかった。1オーダー当たりの量は減り、必要な分だけのオーダーが多い。

平成25年の状況、事業概要

- ・円安の影響で、輸入原材料が上がっているため仕入れ単価が上がっている。円安でも輸出は伸びなかった。
- ・各原糸メーカーが生産アイテムを絞り込んできたため、糸を選ぶことが出来なくなってきた。原糸生産会社も廃業などで少なくなってきた。原料アップをきっかけとした、海外生産拠点も中国からタイ、ベトナムなどのアセアン全体に広がってきた。

今後の課題

- ・大手アパレルは、生産の決定がより遅くなり納期がきつくなってきた。これの解消方法を検討すること。
- ・ランニング在庫を持っていないため、対応が不利になっている。経糸がかかっている間に合わない。生産工場の減少にともない、準備工程も少なくなっている。そのため、生産に時間がかかり納期対応が難しくなっている。対応ができなくなれば、顧客が産地として見てくれなくなる危険性がある。
- ・円安の環境を利用して輸出を再検討する必要がある。輸出取引が売り上げアップにつながるように、商社も含めた輸出業者との提携も必要になるのでは。解消するためには、売れているブランドとの深い取り組みが必要で、取り組みが無いと商談が始まらない。

以 上

桐生市繊維振興協会 加盟団体名簿

(順不同)

団体名	代表者名	所在地	電話 (0277)
桐生織物協同組合	後 藤 隆 造	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生染色組合	伊 藤 久 夫	桐生市相生町2-620 (株)アート内	54-5178
桐生商工会議所 繊維部会	木 村 俊 一	桐生市錦町3-1-15	45-1201
桐生繊維製品協同組合	岡 部 利 明	桐生市永楽町6-6	46-8118
桐生織物産地元売組合	木 村 俊 一	桐生市相生町2-230-1 (株)小野木商店 内	53-5131
桐生糸商組合	川 村 隆	桐生市仲町3-15-6 川村(株)内	44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	岩 崎 朝 嗣	桐生市永楽町6-6	22-7919
東日本編レース工業組合	黒 澤 昇	桐生市永楽町6-6	22-3847
桐生意匠組合	増 田 正 明	桐生市東4-5-32 (有)増田図案所 内	44-5334
桐生紋紙組合	高 松 靖 郎	桐生市宮前町1-6-60 (有)高松紋切所 内	22-4380
東毛ジャカード刺繍協同組合	西 村 千 春	桐生市新宿3-7-34	43-1166
桐生織物商友会	和 田 貞 之	桐生市川内町1-98-5 (株)ワタミツ内	65-6188
桐生テキスタイル商業グループ	篠 田 一	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
桐生織伝統工芸士会	江 原 毅	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協)内	43-2511
有限責任事業組合 起龍	丸 山 裕	みどり市笠懸町阿左美1118 (株)大桐 内	32-5573

事務局 公益財団法人桐生地域地場産業振興センター内
 〒376-0024 桐生市織姫町2-5
 電 話 (0277) 46-1011
 F A X (0277) 40-1300